

0.05%

転倒・転落

b.入院患者での転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b以上の発生率

安全管理室

測定値の定義・計算方法

Outcome 分子： 入院中の患者に発生したインシデント影響度分類レベル3b以上の転倒・転落件数

分母： 入院患者延べ数（人日）

活動のきっかけ

転倒・転落は、療養上の世話において、発生をゼロにするのは困難である。転倒転落発生率を定期モニタリングすることで、対策の院内標準化（環境的要因：センサー付きベッドや体動センサー等の使用物品、システムや体制的な要因：取り決めルール等）など体制整備へつなげることができる。

改善活動部門

- 安全管理室
- 薬剤部
- ME科

考察

上手くいったこと	課題と感じたこと
<ul style="list-style-type: none">「転倒・転落発生率」、「入院患者での転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b以上の発生率」は、日本病院会QIプロジェクト報告指標の平均値以下を維持している。新病院移転後、施設・設備の改善や体動センサー等のツールの改善・拡大、職員の対応状況が可視化されるツールの導入もあり、転倒発生時にふりかえりに活用することができる。	<ul style="list-style-type: none">医療チーム内での連携強化が必要である。